

学校情報 School Information



マンハッタンの中にはディストリクト1、2、3と教育委員会が3つに分かれていて、お住まいになる場所で、どこの学校になるかが決まります。その中でも、ディストリクト2が一番範囲も広くアップパーイーストから、トライベッカになりかなり、評判が良い学校が集中しています。

マンハッタンの学校は高学歴、高収入の親たちも行かせるぐらいレベルの高い学校が多く、特に親の寄付が多い地域のレベルは高いだけでなくラテン語を取り入れたり私立並みの教育が受けられると言うので定評があります。

9月の新学期に向けて、子供を持つ親は学区の良い地域を求めて引越しを考える



人が多く、特に学校の終わった6月から9月の新学期に移動する人が多く人気のある学区は物件薄な上に価格も跳ね上がる状況です。

公立の小学校は幼稚園から小学校5年生までのグレードに分かれており、幼稚園終了後そのまま同じ小学校に上がる事になる為、この時期に評判の良い地域に引っ越す家族が多いです。

入学予定の年の翌年1月1日までに5歳になっている子供がその年の9月に幼稚園に入学できる。公立の場合住む場所によって通う学校は自動的に決まってしまう。学区の境界線は細かく入り組んでいるので、物件の最終決定をする前に教育委員会に問い合わせる

か、地域の不動産会社で最終確認すべきです。

良い学区と言っても子供の性格や学力によってその学校が合うかどうかは事前リサーチをする必要があると思います。スコアが高い学校が必ずしも自分の子供に合う学校とは限りません。

住所を証明する書類は学校やその年によっても違い、契約書、電気代やケーブルの領収書などを提出して本当にそこに住んでいる事を証明する。他人に住所を借りたりしないための処置です。住所確認の為に実際に自宅を確認に来たりする事もあり。本人が住んでいないなどの不正が見つかった場合、罰金として市が税金から子供に使っている2倍の金額を請求されることもあるそうです。

逆に物件購入の場合、自分に子供がいなくても学区の良いとされる地域に持っている物件の価値を維持できるだけでなく、貸し易く、売り易くというメリットもあります。

